

(様式 1 - 表)

令和 5 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	60	豊田市立 足助小 学校	代表	成瀬 美香
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	「地域に学び、かかわり、発信する子どもの育成」	分野	i	その他
	サブテーマ ～「みんな大好き！足助の町」の実践を通して～	※(その他)は分野を右欄に記入	郷土学習	
学校づくりの視点（ねらい）	豊田市足助町は三河山間部に隣接し、自然が豊かであると同時に、歴史と伝統のあふれる地域である。そんな地域の中心部にある足助小学校の児童たちに、自分たちの住む地域の自然や人、もの、歴史、文化に触れ、足助のよさを感じ取ってもらいたい。そして、足助地区に根ざし、伝統や文化、自然などを守り育てていく人材に育ってほしいと考えている。そこで、特色ある学校づくり推進事業の精神に基づき、地域の中で児童が見たい、知りたい、やってみたいと思う地域素材をピックアップし、地域の人材を活用して、教えていただいたり、体験したりする機会を設定していく。そして、そこで学んだことを地域へ発信していく力を育てたいと考える。伝統や文化に触れることを中心としながらも、児童の発達段階に応じて幅広く地域を見つめる活動を行っていききたい。			
活動内容・計画	○地域の人材や素材から学んだり、かかわったりする活動（6月～2月） ・地域の伝統芸能を学ぶ： 綾渡踊り（全校） ・地域の食を学ぶ： 味噌づくり（3年冬） 五平餅づくり（4年冬）、おこしものづくり（1年 2年冬） ・地域の伝統行事から学ぶ： たんころんづくり（6年夏）、餅花づくり（1年 2年冬）、中馬のおひなさま（1年 2年冬） ・地域の人材から学ぶ： 陶芸、足助資料館、足助城、平勝寺、香積寺、重伝建、栽培、裁縫、書道、防災 ・地域の自然から学ぶ： 香嵐溪、飯森山、足助川、神越溪谷 ○生活科・総合的な学習の時間とタイアップした学習（6月～1月） 1年：こども園との交流 2年：足助の町探検 3年：足助の農作物 4年：足助の防災 5年：足助の自然環境保護 6年：足助の歴史 家族や地域住民、地域講師と交流する学習を位置づけ、学習のまとめとして2月の授業公開日の際に発表会を開催し、学習成果を発表する。 ○体験活動、追究学習に活用する学習用教材や用具の整備（7月～12月） 学習意欲を喚起し、一人一人の学びに対応するための学習用教材の拡充を図る。			
補助員配置	・体力向上補助指導員（96時間） ・心の相談員（128時間） ・校内整備員（384時間）			
実績・期待される効果	平成28年度からテーマを「郷土学習」として、地域の歴史、文化、町づくり、食などを学ぶ活動を行ってきた。また、地域の人材を生かした読み聞かせ、書写指導や陶芸教室なども行ってきた。これらの活動を通して、児童は身近な地域の気づかなかった場所やものを発見したり、新たな人と出会い、人の温かさや熱い思いに触れる体験をしたりした。そのことにより、一層足助に愛着を感じ、「足助の町並みや自然を守るために自分たちにどんなことができるだろう」と実践に向けて動き出せるようになってきた。 令和5年度もこれまでの実績を発展させ、児童が地域の素材、人、ものなどから学ぶ機会を多く取り入れながら、子どもの発想を大切にして学校から地域へ発信していく活動を取り入れたいと考える。それによって、児童の中にふるさと足助を愛する心が育つと同時に、地域の一員として積極的に地域に貢献していこうとする気持ちが育っていくことを期待する。			
検証方法	・地域ボランティアにアンケート調査を事後に配付し、それぞれの活動についてのご意見をいただき、次年度に生かすようにする。 ・児童、保護者、地域講師等へのアンケートを通して、事業についての感想・人とのかかわりの度合い、事業の浸透度等について確認しつつ、課題を次の活動へつなげていく。			